

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 熊本県宇城市立小川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒869-0622
熊本県宇城市小川町西北小川1番地

E-mail ogawasyo-d@tsubaki.higo.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 78名 女子 55名 合計 133名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ キャリア学習 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

目標

- ① 持続可能な発展に関する諸問題及び価値観について知る中で、将来社会の担い手としての自覚と意欲を高める。
- ② データや情報を分析する活動を通して、その能力及び、体系的な思考判断力を高める。
- ③ 体験活動や既知などの根拠をもとに理由を組み立て、相手にわかるように伝える活動に取り組む中で協同する力、コミュニケーション力、発信力、リーダーシップ等を培う。

活動内容

1 研修関係

(1) ユネスコスクール ESD 研修会（大牟田市）参加

(2) 大牟田市ユネスコスクール子どもサミットへの参加及び発表
発表テーマ

「感じています ふるさとの心 つなぎます 未来へ」
～熊本地震からの復興・支援に感謝～

2 学習活動

(1) ふれあいコスモス祭

① 第1部 学習の成果発表

○2年 （キャリア学習）

・地域の商店街や公道を調べ、働くようすや働く楽しみや苦勞などを発表。

○3年 （伝統文化学習）

・小川町の特産品「白玉粉」について調べ、製造過程等実演やクイズを交えて発表。

○4年 （環境学習）

・砂川の堰の役目や用水路、過去から現在までの利用のされ方等を調べ、砂川の環境保全を訴える。

○5年 （環境学習）

・水俣で学んだことを中心に、シナリオを作り劇を通して環境保全を訴える。

○6年 （キャリア学習）

・修学旅行で学習した「平和の尊さ」について発表。

② 第2部 地域・一般の発表

・獅子舞（伝統文化）を体育館で披露していただく。

(2) 初市で、地域商店街行事に全校で参加し、地域へ発信

①低学年 （キャリア学習）

・商店街を楽器やかかけ声でパレードし、初市を盛り上げる。

②中学年 （伝統文化・キャリア学習）

- ・小川町商店街のことや「白玉粉」「塩屋」について調べたことをステージで発表。
- ・出店に数名ずつ分かれ、販売の手伝いをする。
- ③5年 (環境学習・キャリア学習)
 - ・廃油石けんの製作・販売で環境保全を訴える。
 - ・地産地消の食材で献立を考え、「おがわっ子ランチ」としてレストランを開き、接客や配膳を行う。
- ④6年 (キャリア学習)
 - ・物産館「笑店」を企画し、特産品や花等を仕入れ販売。手もみ、肩もみブースを開き、地域と交流。

3 特別活動

(1) ESD 委員会の活動

- エコキャップ運動
- 学校 ISO 運動

(2) クラブ活動・・・地域の方を先生として招き、伝統文化を学ぶ。

- クッキング：地域食材を使った郷土料理を作る。
- 日本文化：生け花・お茶(茶道)を学ぶ。
- 将棋

成果と課題

○ふるさとについての学習活動を通して、地域との連携も深まり、その心を受けて、将来〔地域〕社会の担い手としての自覚と意欲が児童の中に芽生えてきている。

○探検や見学、実習などで自分たちで調査したデータや情報をどのように活用するかを分析する能力及び発信力が育ってきている。

○地域人材の協力を得ながら様々な体験活動を行うことで他者と協同する力、コミュニケーション力、リーダーシップが育ってきている。

●教職員の研修時間がなかなかとれない。

●日々の多様な学校課題の中で、他のユネスコスクールとの連携や教育機関等とのネットワークを図りたいと思っけていてもなかなか進まない現状がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）